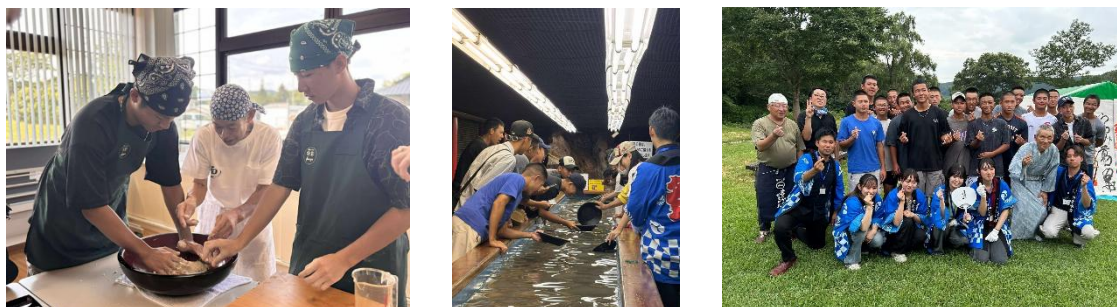


【台湾教育部主催】台湾の将来を担う青年たちが 「地方創生」をテーマに宮城県を訪問します！



※写真は同コーディネーターによる今年8月の台湾学生受入（栗原市花山）の様子

台湾の青年（18～30歳）20名が、台湾教育部（日本の文部科学省に相当）の若手の国際経験の育成を目的とした「青年百億海外圓夢基金計画（Taiwan Global Pathfinders Initiative）」のプロジェクトの一環で、「地方創生」をテーマに15日間、宮城県を訪問します。

11月13日（木）には、研修として農政部農山漁村なりわい課へ訪問いただき、当課より農泊や六次産業化の取組みについての講義を実施します。

つきましては、当県の農泊地域における台湾人受入拡大に向けた取り組みの一環として是非取材していただき、県民の皆様に広くお伝えくださるようお願いいたします。

記

- 1 日時：令和7年11月13日（木）午前10時から午前12時まで
- 2 場所：宮城県庁12階 1204会議室
- 3 主な出席者：【プロジェクト発起人・地方創生イノベーター】金魚厩邊 CEO 彭仁鴻氏
【コーディネーター】ヒロキインターナショナル有限公司 代表 山口広輝氏
台湾の青年（18～30歳）20名
- 4 取材申込：御取材いただける場合は、11月12日（水）の正午までに当課に電話・メール等でご連絡ください。
- 5 その他：当課での講義の他、農泊地域である栗原市花山や南三陸町も視察します。
⇒訪問先（抜粋）：11/16 栗原市花山地域（集落創生の講義、地域見学、関係人口拡大戦略WS）
11/19 南三陸町（ホームビジット等）
11/22（有）耕佑、（合）くりはらファーマーズ（農産物収穫体験・六次産業化の視察）
- 6 プロジェクトの概要

本プロジェクトは「地方創生の研修・視察」をテーマとし、理解—感知—行動を理念に三段階（出国前の育成、日本研修、帰国後の成果発表）で実施するもの。15日間の研修では、宮城県を訪問し、講義・ガイドツアー・フィールドワーク・交流などを通じて、地域がいかにより新たな活力を生み出しているかを学ぶ。現地の生活や理念にも触れ、持続可能な地域づくりの過程を体感することを目的とする。

この経験により、参加者は台湾の地方創生との比較を通じて国際的視野を広げ、将来的には台湾における地方創生を担う人材となることを目指す。また、台湾と日本の双方において知識交流や人材育成を深化させ、社会の持続的発展を支える原動力とすることを目標とする。